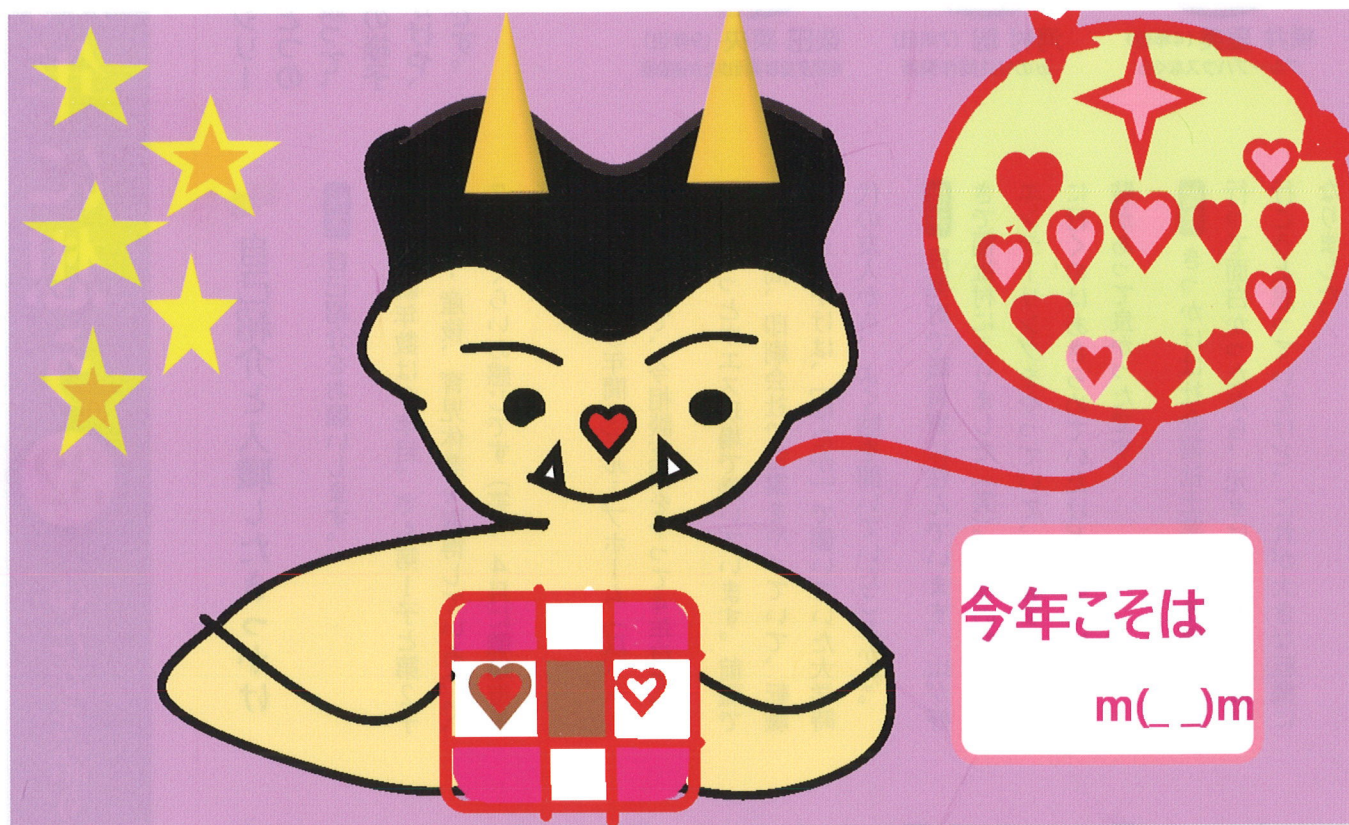




ゆたか福祉会キャラクター  
ゆたかめくとみらいちゃん

# 障害者の ゆたかな未来をめざして

# 2



「鬼のバレンタイン」 グループホーム エール 堀田 八千代さん ※紹介が10ページにあります。

## CONTENTS

- ▶ シリーズ 50 周年に想う③ ..... P 2～4  
～「ゆたかを語り、これからを考える」～
- ▶ ベトナム海外人材セミナー開催 ..... P6～7
- ▶ 私たち成人式を迎えました ..... P11～12

2020年2月10日 毎月1回10日発行 一部100円（法人会員・賛助会員は会費の中に購読料を含みます）

発行 / 社会福祉法人ゆたか福祉会 〒457-0852 名古屋市南区泉楽通四丁目5番地3  
TEL 052-698-7356 FAX 052-698-7358 <http://www.yutakahonbu.com/>



愛知県ファミリー・  
フレンドリー・マーク

ゆたか福祉会 検索

連載

# シリーズ 50周年に想う 32

「ゆたかを語り、これからのを考える」

2017年7月号からスタートしたシリーズ「50周年に想う」は、3月号でひとつの区切りを迎えます。これから2回に渡って、若手職員が参加して開催した座談会の様子を紹介します。今回は入職したきっかけや、ゆたかで働いて感じたことについてです。司会は編集委員の杉本です。

## 自己紹介と入職したきっかけ

**杉本** 自己紹介をお願いします。

**満仲** 勤続年数は9年目。でも第1子と第2子の産前・産後、育児休業を取得しているので、7年目ぐらいの感じですよ（笑）。4月に職場復帰予定です。

**柴田** 最初の5年間はグループホーム（以下ホーム）で働いて、今相談支援をやって4年目です。

**河村** ずっとウエス現場で働いています。前職では2年間、印刷会社で営業をやっていて、転職したきっかけは、「ゆたか」で働いていた大学時代の友人から、よく話を聞いていたことかな。

**横井** 設楽町で職員寮に住んでいます。山が好きで福祉村に入りました（笑）。大学の時にオリエンテーリングをやっていて、就職するので山に行くのはあきらめていたけど、こういう選択肢があつて良かったです。

**國島** きっかけは社会福祉士実習で希望の家に行って面白かったから。元々は高齢者の施設に行こうと思っていたけど、これが大きな転機になりました。

**杉本** 妹がダウン症で福祉に興味があつて日本福祉大学に入り、「就労支援をやりたいな」と思って探したらゆたか福祉会と出会った。面接で「福祉村に配属になっても大丈夫ですか」と聞かれて、その当時「就活にノーはない」と言われていたので、福祉村に行くのを覚悟しました。結構楽しみに「田舎暮らしができるかな」ぐらいの気持ちでした。

**杉本** 異動の経験はある？

**満仲** 子どもができたのをきっかけに、作業所への異動を希望しました。「できればホームにいたかった」という気持ちもすごくあります。楽しかったから。

**柴田** 希望はしてないかな。1年目は何もわからず、2年目ちょっとずつ分かってきて、3年ぐらいたつと「もっとこんなことをやりたい」という気持ちが出てくる。

**杉本** 3年目が過ぎてやっと「自分のやりたいことをやろうかな」と思っていた。そうしたらエールができる時に異動の辞令が出て、ちょっと残念でした。



國島 昂 (6年目)  
生活支援事業所みどり



杉本 雅明 (8年目)  
グループホーム・エール



満仲 里奈 (9年目)  
リサイクル港作業所



横井 里美 (4年目)  
グループハウスなぐら



河村 聡 (7年目)  
みのり共同作業所



柴田 菜央 (9年目)  
相談支援事業所ゆたか通勤寮

**杉本** 転職して変わったことは？

**柴田** 自立支援協議会とか、グループホームでは経験できなかったことに関係するようになった。全体的にこういうふうに戻っているんだということが分かった。

**杉本** 障害の対象も変わったし、グループホームのしくみが、転職して初めて分かった。

**満仲** ガラッと変わりました。作業所によっても違うのかもしれないけど、朝からベルトが流れて「ガーツ」と仕事が行れる。復帰して仕事の感覚にもどるのに1年ぐらいかかりました。

## ■ ゆたかで働いて感じたこと

**河村** 福祉で働いていると空気が違った。一般企業の時は年下の上司に「オイ河村」とか言われていた。仲間も「さん〴〵付け」というのもやさしい世界だと思った。そこが今でも一番「凄いな」と思う。研修制度も丁寧に1年目から3年目、5年目とあるので凄く驚いた。

**杉本** 確かに仕事を始めてから呼び捨てにされたことないかも。

**満仲** 一般企業の時は「さん」で呼ばれていました。ただ役職の人には「〇〇チーフ」「〇〇リーダー」と言わなきゃいけなかった。ゆたかに入

てびっくりしたのが、所長に「さん〴〵付けでいいよ」と言われて「なんでさん〴〵付け!？」と思っただ(笑)。

**河村** やっぱり怒り方とか注意の仕方とかも、民間企業は運動部的な感じ。すごく印象的だったのが、得意先からは1か月に1回、定期的な仕事に来るものだと思って放置していたら、ある日突然仕事来なくなった。「お前いつでも仕事も来ると思うなよ」というようなことを言われて、「営業をやっていくなら常にお客さんのことを気遣い、何も用事がなくても『どうですか』と声をかけることをやっていけ!」みたいなことを言われた。それを上司に言ったら「そんなことは常識だ!」とすごく怒られた。3か月くらい毎日謝りに行って、最初の2週間くらいは「また来たな」みたいな感じで、2週間以上経つてくるともういいない。上司に相談すると「名刺くらい置いて来い!」と言われて、一言書いて置いて来るのを3か月くらいやった。最初に福祉の世界に来た時にはそういう機会はなかったけど、今また営業をやっているんで、例えば年賀状とか暑中見舞いとか、そういうのはしばらく仕事をもらっていないとしても「覚えています」という意味で「やっていかないとダメなんだ」ということをあの時勉強した。今に生きている。

**國島** うちの所長のすごく尊敬できる所は「叱ることができること。「怒る」と「叱る」僕は

明確に違うと思っている。「叱る」は相手のことを慮って大きな声で怒鳴りつけるのではなく、理詰め順序立てて相手に納得してもらえようと言うこと。「叱る」の方が圧倒的に体力も使うし、気も遣う。「いい事業所で育ててもらっているな」というのは感じている。

**横井** 「諭す」「教えてくれる」はあっても、怒られたことはない気がする。1年目は色々わからないこととか、ちょっと違うことをやってしまうことがあると思う。そういう時に怒るんじゃないかって「今度からこうしてね」というふうに言われてきた。強く言われないので、逆に「困らせないように気をつけよう」と思った。

**杉本** 自分も色々教えてもらったことはあるけど、きつく怒鳴られたような経験はないと思う。最初の所長も感情的になることが少なく、自分の経験を交えながら教えてくれるタイプ。副所長二人もしっかりしているけど厳しく言うようなタイプではなくて、「自分も合っているかわかんないけど」と言いながら教えてくれるタイプだった。自分は今まで正職でいうとずっと後輩がない。パートさんもみんな年上だし、だから自分が指導する機会がすごく少ない。「仲間」にちよつと感情的になる部分があるな」というのを感じた。

## ■ 困ったことや悩んだこと

**河村** 「ウエス」と言っても結構種類もあって、お客さんも100件近くある。流れもそうだし、仲間もいろんな方がいらっしやるので、覚えるというか慣れるのに大変だった。もう一つ、現場の職員がベテランばかりで20代は自分だけ。「現場片づけない」「これ要るのかな」とかもはっきり言えなかった。今回（正規採用職員のスーパードライザーをやっていて、新入職員さんには「そう思うかもしれないけど、気にしなくていいから自分の意見を言ったほうがいい」と話した。自分の意見に自信がなかったというか、そこは悩んだところ。「当時、もう少し積極的に現場に向き合っていけば良かったかな」と7年経って気付いた。

**柴田** （入職）前の職場は人があまりいない職場だった。「ゆたか」はすごく大きくて、新入職員研修でいろんな人と交流できたり、「逃げ場」がいっぱいある。異動もできるし凄くいいかなと思う。

**満仲** 「人がいっぱいいるのがいいな」と思った。ホームの職員は少人数制だと一人で回さないといけない。喧嘩とか事件が起こっても、自分で仲裁しないといけないし、病気になるたらその方を連れて病院に行かないといけない。「一人で何でもやらないといけない」というのが多かった。

た。作業所に異動してびっくりしたのが「人がたくさんいる！」ということ。「助けを求められる方がたくさんいる」って安心するんだなって知った。

**横井** ながらは基本いっぱい人がいる。夜間の一人支援の時はやっぱり大変。「夜勤に入りたくないな」と思うこともあった。

**杉本** エールは今二人夜勤なので、その点は安心。

**國島** 夜勤は一人。早番職員が4ホーム中3ホームに配置されているので、朝の忙しさは軽減されている。

**満仲** 職場復帰後は、育児と仕事の両立と新しい環境の三つ巴。今までの環境とは違った仕事に慣れず半年以上かかった。作業所とホームで「報・連・相」の仕方が違うので、凄く悩んでしまった。産休・育休を経て、ホームから作業所へ異動することが多いので、事前のオリエンテーションをしっかりしてほしい。マニュアルも昔のままだったりする。1年近く経ってようやくいろいろなことが言えるようになった。業務に慣れ、覚えるためのプログラムや、期間を決めて指導する職員を配置することも必要だと思っただ。産休で引き継ぐときはマニュアルを作成して託した。

**河村** 「マニュアルが古い」というのはどこの作業所もあると思うんだけど、むしろ「マニュアル

ルが無い」所もあるんじゃないかと思う。入職した初日にパンフレットと一緒に見てもらうDVDとか、仕事の流れとかを上映できる教材があるといいと思う。

**杉本** 午前中の広報・ホームページの会議でその話題が出ていた。

**河村** 「読むのはちょっとめんどくさい」と思うけど動画はいい。

**國島** ご家族向けに4ホームとも一日の流れをビデオで撮影して紹介している。ご家族には文面でお伝えするよりも動画の方が分かりやすい。「映像をマニュアルとして使うのもいいかな」と話を聞いて思った。

**杉本** Google earthみたいな事業所内を全部見ることが出来るものもある。

**満仲** 作業の様子を映像に撮って、小学校4年生が社会科の「郷土の学習」で社会見学に来る時に流している。

\*\*\*\*\*

年齢も近く、ほとんど顔見知りということもあり、和気あいあいと話が弾んだ座談会でした。

今回は将来の姿や、これからの「ゆたか」について語って頂きます。

2020

3.28

# 事業開始50周年記念集会 着々と準備中!

## 文化企画紹介

- ① 仲間たちを中心に本物の音楽や踊りに触れ、参加型で楽しむ
- ② ゆたか福祉会50年の歴史を共有する
- ③ 大切にしてきたうたごえのステージをつくる

の3つの柱で準備を進めています。そのひとつである「参加型で楽しむ」ために、日中事業所では「よさこいソーラン」の演舞に関わっている若手職員を中心に「うらじや音頭」の練習を始めています。「うらじや音頭」は踊りの形はあるものの、思い思いに踊りエネルギーを発散できる踊りです。

うたのステージに向けては、50周年の記念のうた「つなげよう明日(あした)へ」が出来上がり、デモテープも流しながら練習を行っています。今回は昨年12月に取り組んだ3事業所の様子を紹介します。

## ゆたか作業所

～表現活動の原点にもどって～

12月2日午後、「何が始まるんだろ?」と仲間たちが食堂に集まってくると、記念集会の全体像について初めて皆さんにお伝えしました。そして「うらじや音頭」の練習。夢人党の学生さんの踊りを見て踊る仲間、自由に身体いっぱい使って踊る仲間、ちょっと入れない仲間と様々でした。

それでも職員が輪の中に入り踊りだすと、次第に盛り上がりだしてきました。普段は仕事中心で、なかなか行事に参加できにくい現場もありますが、50周年のこの取り組みを契機に、踊りやうたを仲間たちの表現活動として作業所全体で楽しめるといいなと思いました。



## うらじや音頭で心も体も熱く

～広がれ! つゆはしの輪～

12月9日に作業所前の公園で練習を行いました。当日は「夢人党」の学生さんを筆頭に、うらじや音頭のリズムと踊りが仲間にも合っていたようで、自分なりの音頭を取りながら楽しんで踊っている姿がありました。

終盤には、「ハイ、ハイ、ハイ...」のリズムに合わせて仲間と職員が手を取り合って輪になる部分があります。どんどん広がっていく輪がつゆはしの仲間と職員の大きな輪となり、笑顔も増えていくところが印象的でした。

同時に心も体も熱くなり、仲間と職員ともに「楽しかった」と気持ちが一つになった瞬間に出会うことができました。



## ワークセンターフレンズ星崎

「よさこい」初体験で振り付けを完璧に覚えました!!

クリスマスイブ前日の12月23日、事前に50周年を祝うイベントで「よさこい」を踊ることは聞いていたけれど、「よさこい」って何だろう?」「音が鳴る楽器を持って踊るんだよね」そんな気持ちを抱きながらはじまった練習でした。

最初は、振り付けを覚えるのに苦戦したり、途中で疲れて座ってしまう人もいました。それでも、何度か音楽に合わせて踊っていると、表情がいきいきと輝きだし、汗をかきながら、踊りを完璧にマスターした人もいました。

夢人党の方からも「皆さん覚えるのが早くて驚きました」と感想をいただきました。記念集会当日も完璧に踊れるように、練習を重ねていきます。練習を重ねていきます。練習を重ねていきます。



# ベトナム・フエの人達との 連携を探る国際セミナー

1月18日、名古屋港ポートビル講堂を会場に、ベトナム・フエ科学大学の関係者をお招きし、国際セミナーを開催しました。この取り組みは、この数年、交流を重ねてきた社会福祉法人愛光園、名古屋ライトハウス、ゆたか福祉会の3法人共催という形で実現しました。

## 昨年9月のベトナム・フエの 視察研修から

### 視察研修から

昨年9月、ベトナムの障害者福祉の現状を知ること、海外人材確保の可能性を探るという目的で、3法人で海外視察研修を行いました。（11月広報で紹介）この視察研修は、ゆたか福祉会の海外分野の取り組みのアドバイザーをお願いしている、法政大学の佐野竜平先生のコーディネートで実現したものです。

ベトナム・フエを中心とした障害児者施設や障害者作業所の見学、大学訪問、ベトナムの若い人たちのワークショップなどを行ってきました。



フエ科学大学 副学長 トラン・ゴク・テウエン氏

## フエ科学大学の訪問と懇談を通して 国際セミナーが実現

### 国際セミナーが実現

今回の国際セミナーのちょうど1年前、昨年2月にゆたか福祉会でベトナムを訪問した際、フエ科学大学の社会福祉学部の紹介を受け、学部長など大学関係者との懇談が実現しました。その場では、学生の卒業後の進路状況や、日本の福祉現場での就労について意見交換をし、連携の可能性について要請を行い帰国しました。

その後、昨年9月に行った視察研修の際に2度目の訪問が実現し、関係者と更に具体的な意見交換と、学生の皆さんとの交流の場を持つことができました。その中で、学生たちの日本への関心の高さと、大学関係者も連携に関心を持たれていることが分かり、今回のフエ科学大学関係者の日本への招へいが実現しました。

## ベトナムから来日、 3法人の福祉現場を見学

### 3法人の福祉現場を見学

今回来日したのは、フエ科学大学副学長をはじめとした関係者と、9月の視察研修をサポートして頂いたエンジニアブルイングリッシュの代表の皆さんです。1月16日に中部国際空港に到着後2日間、3法人のそれぞれ特徴のある事業所を見学していただきました。

名古屋ライトハウスでは、本格的な働く場や就労移行支援事業、視力障害者の情報文化センター、愛光園では老人保健施設や障害者の生活施設、障害のある人が働く直営レストラン、ゆたか福祉会では、リサイクル事業、グループホーム、相談支援事業やヘルパー派遣などを紹介しました。

ベトナムでの障害者の福祉制度は、まだ未整備の状態です。福祉事業所も篤志家や外国からの支援を受けて行っているというのが実情です。フエ科学大学の関係者からは、日本の制度が整っていること、そこで働くスタッフの姿勢や事業運営などを「ぜひ多くの学生に学ばせたい」という感想が出されていました。



フエ科学大学 社会福祉学部長  
フウ・チ・アン・フオン氏

# 国際セミナーの様子

## ❁プログラム①

### 「ベトナム視察研修報告」

国際セミナーの最初の企画は、9月のベトナム視察研修に参加したゆたか福祉会と名古屋フリースペースのメンバー4人の報告でした。ベトナムのハウスを中心とした障害者施設や、観光地ホイアンの旧市街地にある障害者作業所の工房とお店、ダナンにある障害者を多数雇用している企業の視察報告が、写真を織り交ぜながら紹介されました。ゆたか福祉会から参加した職員は現地の学生宅に伺ったホームステイの様子を報告しました。

## ❁プログラム②

### 「愛光園の海外人材の取組とベトナム人スタッフの職場での様子」

愛光園は数年前から海外人材の受入れの取り組みを始めており、現在ベトナムからEPA介護福祉士候補（経済連携協定）と技能実習生が複数働いています。この取り組みの経過と現状、大切にしていることなどを報告してもらいました。老人保健施設で日本人スタッフと一緒に働いている

EPA介護福祉士候補の2人からの発言もあり、実際に受け入れている様子も参加者にもよく伝える発表となりました。

## ❁プログラム③

### 「ベトナムにおける

### 障害者支援・介護の現状と連携先としての

### 日本に望むこと・学びたいこと」

フエ科学大学社会福祉学部長フオンさんから、ベトナムの障害者や高齢者の状況、また政府としての考え方や福祉政策の現状について報告がありました。その中では、ベトナムは障害者の人口比が高いこと、高齢化率も30年後には日本並みになることなどが話されました。

また、国として「障害者権利条約」は批准しているが、高齢者分野の施策も含め、福祉制度はこれからの課題ということも話され、若い人たちが日本から学び、ベトナムの福祉の発展に寄与できるように期待しているとの発言がありました。

## ❁プログラム④

### 「Enjoyable Englishの活動紹介と

### ベトナム学生が日本の介護分野に

### 従事するに当たり必要なこと」

9月の視察研修のサポートやホームステイ先となった、エンジョイブルイングリッシュ代表のリンさんからは、団体の活動の様子と活動の趣旨「人権としてのコミュニケーションを擁護すること」の説明がされました。

## 来日されたベトナムの皆さんとアドバイザーの紹介

### ●フエ科学大学 (Hue University of Science)

Dr. Tran <sup>ゴク</sup> <sup>テウエン</sup> <sup>トラン</sup> <sup>ゴク</sup> <sup>テウエン</sup> (フエ科学大学副学長)

Dr. Huynh Thi Anh Phuong <sup>フウ</sup> <sup>チ</sup> <sup>アン</sup> <sup>フオン</sup> (フエ科学大学社会福祉学部長)

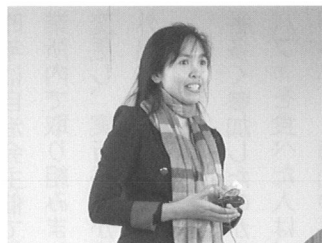
Mr. Bui Quang Dung <sup>フイ</sup> <sup>クワン</sup> <sup>ズン</sup> (フエ科学大学社会福祉学部副学部長)

### ●エンジョイブルイングリッシュ (Enjoyable English)

Ms. Ho Thi My Linh <sup>ホ</sup> <sup>チ</sup> <sup>ミン</sup> <sup>リン</sup> (Enjoyable English 創設者 / 代表)

Ms. Hoang Nguyen Dieu Hang <sup>ホアン</sup> <sup>グエン</sup> <sup>チウ</sup> <sup>ハン</sup> (Enjoyable English スタッフ / コーディネーター)

★アドバイザー 佐野竜平氏  
法政大学 現代福祉学部・人間社会研究科 准教授



Enjoyable English 代表  
ホー・チ・ミン・リン氏



英語を学ぶベトナムの若い学生たちの集団であり、その中には聴覚障害の人たちのグループも存在していることが紹介されました。今後は英語とともに日本語を学ぶ取り組みを強め、手話も含めたコミュニケーションの輪を広げていきたいとの報告がありました。

# 今年も素敵な1年になりますように 私たちは2020年の幕開けをこんなふうに迎えました！

## ゆたか生活支援事業所みなみ

### 美味しさ満喫

#### 〜ゆったり楽しい1泊旅行〜

大晦日から元旦にかけて、仲間と職員合わせて21名で西尾・蒲郡へ行ってきました。この1泊旅行は昨年までは4事業所合同で行っていました。しかし、高齢化・重度化が進み、集団で旅行に行く事が難しくなってきたり、「ホームでゆっくり年を越したい」という希望などもあり、今回は事業所みなみと事業所なかがわの2事業所での取り組みとなりました。

2日間とも風が少し強く、寒く感じることもありましたが、天候には恵まれました。1日目は、一色さかな広場で美味しい魚料理を食べ、抹茶ミュージアムで美味しい抹茶をいただきました。旅館では温泉にゆっくり浸かり、美味しい食事や飲み物を楽しみました。

2日目は、竹島神社へ初詣に行きました。最後はみなさんが楽しみにされていたイチゴ狩り！「大きいね！甘いね！」などと話されながら、美味しくいただきました。気分もリフレッシュし、新年にふさわしい楽しい1泊旅行となりました。

ゆたか生活支援事業所みなみ 小林のり



## つゆはし作業所

### 書初めに思いをのせて

1月6日に「仕事始めの会」を行いました。この会では毎年恒例となっている書初めをします。仲間も始まる前から「書初め、なに書く？」「書初めやるでしょ？なに書くか決めてきたよ」と会話が弾み、やりたい気持ちが溢れていました。

今回も抱負や好きなことなど、仲間の思いの丈を筆に込めて書いていただきました。なかには「納得がいくまで書きたい」という仲間や、何枚も半紙に思いを書いている仲間もいました。仲間の性格や思いに触れる機会ともなり、楽しい取り組みの一つです。



最後は年男の仲間を中心に発表を行い、『給料アップ』や『けんこうになる』など、たくさんの思いが叶いますようにと願いを込め、拍手で締めくくった「仕事始めの会」でした。

岩田 尚子

## リサイクル港作業所

### 新年会

#### 〜今年は

#### 外出の取り組みに

#### チャレンジ〜



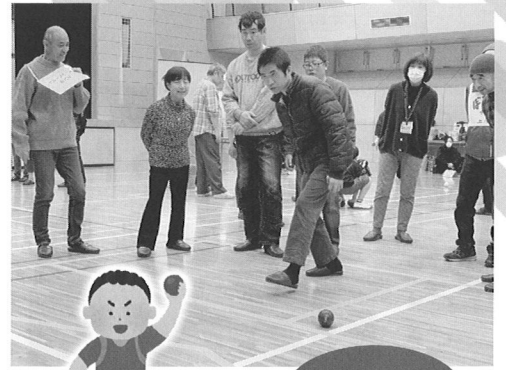
1月11日（土）午後、新年会を行いました。昨年は自治会主催で繁忙期のごくろうさん会を作業所内で取り組みましたが、今年は作業所行事に変更し、実行委員が皆の意見をまとめ、要求別の外出に決まりました。

外出先は喫茶・買物・カラオケの3コース。一番多く参加したのが喫茶グループでした。初めてパフェを食べた人は、箸からスプーンに替え「おいしい」と満面の笑顔。買物グループは、さつさと買い求める人やしゃがみこんでじっくり考え込む人、「今日は大成功！」と満足気な人も。カラオケグループは、各自持ち歌を熱唱。「またみんなで行きたい。カラオケクラブ作りたい」と声がありました。

作業所に戻り「まだ繁忙期は続きますが、月曜日からまた頑張りましょう」と、実行委員長の挨拶でお開きとなりました。

鈴木 伸弥





1.18

# 「緑区自立支援協議会」主催 「ボッチャ交流会」に参加しました！

ボッチャは、運動能力に障害がある競技者向けに考えられた障害者スポーツです。2020年東京パラリンピックでは、名古屋市緑区在住の河本圭亮選手が日本代表に内定しました。そんなボッチャを12月には事業所みどりの忘年会で、1月には自立支援協議会主催の「ボッチャ交流会」に参加し、仲間たちも職員も楽しく取り組みました。

## 忘年会で盛り上がったボッチャ

今回は河本選手の話もあり、ボッチャをホーム対抗で忘年会の余興の一つとして行うことにしました。まずは各ホームでボッチャの道

具を借り、ルールの確認や予行練習を行い、いざ忘年会へ。会場はなるみ作業所と希望の家の食堂をお借りしました。どの試合も接戦で、「キヤーツ」という叫び声や、「勝ったね」「負けちゃった」と、仲間も職員もみんなで大いに盛り上がりました。

## ボッチャでつながる交流を大事に

毎年事業所では、「自立支援協議会」が開催する講演会や映画会に参加してきました。今回は、緑区役所徳重支所体育館を会場に河本選手をお招きして「ボッチャ交流会」が行われました。

第一部は座談会が行われ、ボッチャに携わってきた歴史や技の披露が行われました。河本選手が狙い通りにボールを操る姿に、会場は大きな拍手に包まれました。第一部は「体

験ブース」と「試合ブース」に分かれて行われました。「試合ブース」は各チーム6人前後の編成で4リーグ。1リーグに3チームが集まり、リーグ内での総当たりで行われました。

チームは何とか1勝をするものも全勝にはならず、リーグ戦では惜しくも得失点差で2位という悔しい結果に終わりました。けれども仲間たちは笑顔を絶やすことなく、学童や他の障害者団体の人たちと交流することができました。

ボッチャは、どんな人でも分け隔てなく参加することができるのが魅力です。今回のような機会を通じ、私たちのことをもっと地域住民の方へ知って頂くことができると思います。これからもぜひ、仲間を誘って参加していきたいです。

ゆたか生活支援事業所みどり

國島 昂

一口メモ

### 「自立支援協議会」とは？

「関係機関が連携を図ることにより、地域における障害者等への支援体制に関する情報を共有し、関係機関の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行うものとする」として、保健、医療、福祉、教育、就労等の多分野、その他の職種など官民一体となって協働できる仕組みのことです。

障害のあるなしにかかわらず、だれもが生活しやすい地域をめざして、障害者支援等障害福祉に関する情報収集と提供・普及啓発などを実施しています。平成24年4月から法定化され、名古屋市の各区に設置されました。



12月

- 3日(火) リハビリテーション委員会
- 5日(木) 強度行動障害者支援者養成講座  
「実践研修」～6日
- 6日(金) がんばるディ/南障会望年会
- 7日(土) 評議員会
- 9日(月) 事業運営推進会議
- 10日(火) トライズ名古屋市指導監査・実地指導
- 11日(水) 新管理職研修
- 12日(木) ライフサポート介護保険実地指導
- 14日(土) 2020年度「内定者の集い」
- 18日(水) 3年目研修/就労事業推進委員会
- 19日(木) 広報・ホームページ編集委員会
- 20日(金) きょうされん安居楽業ゼミナール  
ADVANCE ～21日 於: 福岡
- 21日(土) 研究所例会
- 23日(月) 新入職員援助担当者会議/研修部会議
- 25日(水) 所長会議
- 27日(金) スーパービジョン研修

表紙の作者紹介

グループホーム エール 堀田 八千代さん



表紙に作品が  
選ばれるのは今  
回で3回目になり  
ます。慣れた様子  
で「これはどうか  
な?」と何回も絵を  
持ってきてくれま

した。一度完成し提出をしました。納得がいかなかったらしく、数日後「やり直した」とまた届けてくれました。

リサイクルみなみ作業所に通所しながら、疲れている中でも書き上げてくれた力作です。過去に選ばれた作品も部屋に飾っている堀田さん。「また一つ増える」と笑っていました。ペイントをうまく使いこなせるようになり、初めて選ばれた作品と比べても、上達をしています。これからもぜひ、続けていってくださいね。

中央競馬馬主社会福祉財団並びに  
中京馬主協会助成事業完了のお知らせ

この度ゆたか作業所では、中央競馬馬主社会福祉財団様並びに中京馬主協会様より助成を受け、きうちんYutakaに大型バンタイプの「保冷車」を購入いたしました。

これまで給食食材提供においては、軽自動車の保冷車で運行してきましたが、より提供数を増やし複数台での配送も可能となります。

中央競馬馬主社会福祉財団様並びに中京競馬馬主協会様をはじめ、ご協力いただきました関係各位の皆様にご心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



一般寄附(12月・1月)

伊藤 澄子 丹羽 幸吉 宗教法人明拝教会

賛助会員新規加入者・更新者(芳名一覽)

(12月9日～12月19日手続き分) 順不同敬称略

- |            |           |        |
|------------|-----------|--------|
| 亀田 やよい     | 鷺山 俊明     | 佐藤 よし子 |
| 松島 時子      | 古賀 静子     | 鈴木 鐵也  |
| 堀池 育志      | 木戸 幸子     |        |
| ブロン電機(株)   | 設楽測量設計(株) | 加藤博俊   |
| 有限会社 岩本工務店 |           |        |

ありがとうございました

※利用者・保護者・職員の方からも多くのご寄附をいただきました。

広報・445号

2020年2月号(2020年2月10日発行)  
定価1部100円  
法人協力会員・賛助会員は会費の中に購読料を含みます

発行・編集 / 社会福祉法人ゆたか福祉会  
印刷 / 株式会社東海共同印刷

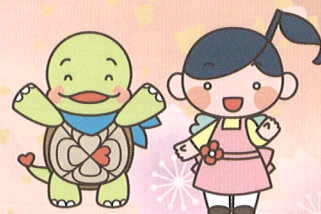
法人協力会費・賛助会費・寄附金など福祉会への申し込み、ご送金は

法人協力会費 = 年間1口 6,000円、  
賛助会員(個人1口 3,000円、企業団体等1口 5,000円)

●銀行口座 名義はいずれも社会福祉法人ゆたか福祉会

- ・三菱UFJ銀行 柴田支店 普通預金 291-884
- ・中京銀行 鳴海支店 普通預金 150-425

●郵便振替口座 00820-8-54026 社会福祉法人ゆたか福祉会



# おめでとうございます 私たち成人式を迎えました

## みのり共同作業所



やまざき ひろし  
山崎 寛さん

毎朝、元気な声で挨拶をする山崎さん。5ミリに満たない細かいバネを黙々と組み立てる作業が好きで、毎日机に向かっています。

作業所で行った成人式では、ご両親と共にスーツ姿で参加しました。式では、これまでの人生を映像や写真で振り返ったり、記念品を贈呈されたりと盛り沢山の内容でした。

緊張した表情でしたが、「お父さん、お母さんありがとう！」と感謝の気持ちを述べられました。これからも更なる成長に期待しています。



さかがみ はやて  
坂上 颯さん

南養護学校を卒業し、作業所で働き始めて2年目になる坂上さん。軽作業班で作業・活動と毎日パワフルに過ごされています。

手先が器用でイラストや折り紙がとでも得意です。成人を祝う会では、なかまの皆さんからお祝いの言葉をもらい、少し照れる表情も見せていました。これからのみのりを担う存在として頑張ってくださいと思います。

## リサイクル港作業所

やました よしむね  
山下 芳宗さん



1月24日、作業所で成人式を行いました。スーツを着てちょっと緊張ぎみの山下さん。名古屋市立西養護学校を卒業して2年目になります。

はたちの目標は、「おしごとがんばる。きゅうりょうびに、おかあさんにケーキをかけてあげる」です。仲間からは「山下さんから肩をトントンと声をかけられると、疲れている時にホッとする」「休まれると困るので健康に気をつけてください」とメッセージが送られました。

作業所では今年度から、ビンのプラスチックキャップを取る作業をしています。誰よりも早い手さばきで、真剣に作業に向かう姿はベテラン選手のようにです。

将来を担うメンバーとして、今後の活躍を期待しています。

## なるみ作業所

## 私たち成人式を迎えました

ながた そういちろう  
永田 奨一朗さん

「一歩が大きな一歩に！」



南養護学校高等部を卒業し2年目を迎えています。入所当初苦手だったウオーキングにも、今ではウルトラ班の仲間たちと一緒に取り組むことができるようになり、2時半まで作業所で過ごすこともできるようになりました。

成人式当日は「最後まで参加できるかな？」と心配しましたが、無事参加することができました。なかでも、南養護学校時代の先生からの応援ビデオメッセージを食い入るように見入っていた姿が印象的でした。

ウオーキングでみせた力を、今度は作業所での仕事に向けチャレンジして欲しいと期待しています。いっしょに頑張っていきましょう。

いぬかい さき  
犬飼 早紀さん

「私に任せて ~新しいことにチャレンジ~」



笑顔がとてもキュートな犬飼さん。自主製品班に所属し、軍手のリフォームの仕事やぼかし作りの仕事をしています。

作業所に来た頃は戸惑いも多く、「どうしていいかわからない」という状況でしたが、今では仲間集団にもすっかり慣れました。そして作業の力を蓄える中で自分の意志も強くなり、「ここは私に任せて！」という場面が多くなりました。

周りの人に助けられながらも、日々成長していく姿はとても素敵です。小柄な犬飼さんですが、当日会場に向かうその姿はとても大きく見えました。20歳からの出発、明日に向かってチャレンジ!! です。

## ワークセンターフレンズ星崎

こんどう ゆうら  
近藤 優良さん

就労継続B型現場で、毎日メール作業に取り組んでいます。手先の器用さを生かし、機械を使って資材準備をしたり、郵便番号ごとに分けをする工程で活躍される姿もあります。これからも先輩の皆さんと協力しながら、仕事をすすめる楽しさを学んでいただけるといいなと思います。

先日行われた新年会では、「成人のお祝い」企画で、全員の前で挨拶をされました。「給料6万円目指して、これからも頑張ります！」という力強い決意表明は、今後の働く姿に大きな期待を持つことができました。これからも一緒に頑張りましょう!!

